

ソニックデザイン 企業報道資料 2011年11月30日

ソニックデザイン、運転席でも後席でも高音質が楽しめる メルセデス・ベンツ「Sクラス」専用のオプションサウンドシステムを メルセデス・ベンツ日本(株)より受注

株式会社ソニックデザイン(千葉県千葉市中央区南町2-6-18、社長:佐藤敬守)はこのたび、メルセデス・ベンツの最高級セダン「Sクラス」専用のオプションサウンドシステムをメルセデス・ベンツ日本株式会社(東京都港区六本木1-9-9、社長:ニコラス・スピークス)より受注しました。本システムは「Sクラス」のメーカー装着オプションとして、メルセデス・ベンツ日本(株)から、「S-Class Sound Suite」(Sクラスサウンドスイート)の名称で全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて販売されます。また、これに先立ち、2011年12月3日(土)から11日(日)まで東京ビッグサイトにて一般公開される「第42回東京モーターショー2011」の弊社ブースにおいて、本システムを装着した車両を報道関係者に公開いたします。



「S-Class Sound Suite」に搭載される専用設計コンポーネント群:前後ドアに装着するフルレンジドライバー・モジュール「D52SSR Unison-Array」(写真左右の4台)、サブウーファーモジュール「The Suite Custom-Bass」(写真奥)、純正システムのソースユニットとしての資質を引き出す SonoRevive 技術搭載の特別仕様デジタルプロセッサアンプ(写真中央手前)

*写真はプロトタイプです。実際に納入する機器類は外装仕上げなどの詳細が写真と異なる場合があります。
また、デジタルプロセッサは合成による商品説明用イメージ写真で、実際の製品では内部は見えません。

「S-Class Sound Suite」 概要

メルセデス・ベンツと、ソニックデザインの完全受注製作方式コンプリート・カーオーディオ開発プロジェクト「The Suite」とのコラボレーションによって生み出された自動車メーカー純正カーオーディオの最高峰、それが「Sound Suite」シリーズです。今回発表するSクラス専用オプションサウンドシステム「S-Class Sound Suite」は、2009年に登場した「Sound Suite」シリーズの5作目で、新型Sクラス全車に注文可能なオプション装備として販売される予定です。弊社ではメルセデス・ベンツ日本(株)の協力のもと、Sクラスの車体形状や車室内音響特性に最適化した専用コンポーネント群の設計開発、専任技術者の手による車両への架装、1台ごとの綿密なサウンドチューニングなど音質にかかわる全工程を担当。特に今回の「S-Class Sound Suite」では、ドライバーズシートはもちろんリアシートでも最高級セダんにふさわしいサウンドを提供できるよう前後均質のスピーカー構成と先進的なデジタルプロセッシング技術とを融合し、お乗りになる方をいつも心地良い音楽で迎える、真に高品位で格調高いカーオーディオサウンドを完成させました。

- 「S-Class Sound Suite」は、Sクラス専用のオプションサウンドシステムとして、メルセデス・ベンツ日本(株)から全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて販売される商品です。弊社での直接販売は行っておりません。本商品のご購入に関するお問い合わせや試聴などのご用命は、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークで承ります。
- 「S-Class Sound Suite」に搭載されるオーディオシステムおよびコンポーネント、パーツ類はすべて本システム専用開発されたものです。単独での販売は行っておりません。
- 「S-Class Sound Suite」は標準ボディ車(W221型)、ロングボディ車(V221型)それぞれの車室内形状に最適化した専用のサウンドチューニングを実施したうえで納車されます。



Sクラス専用オプションサウンドシステム「S-Class Sound Suite」を装備したメルセデス・ベンツSクラス ハイブリッドロングのインテリア例(仕様・装備などはベース車両により異なります。この写真は商品説明のために一部合成されたもので、実際のスピーカーは外部からは見えません)

「S-Class Sound Suite」 オーディオシステムの設計コンセプト

1：運転席と後席、ふたつの“特等席”を自在に選択可能

Sクラス専用開発された52mmデュアルドライブ構成のアルミダイキャスト製エンクロージャー一体型フルレンジドライバー・モジュール「D52SSR Unison-Array」(D52SSR ユニゾンアレイ)をフロントドアとリアドアに装着し、さらに重低音を補完する77mmデュアルドライブ構成のサブウーファーモジュール「The Suite Custom-Bass」(ザ スウィート カスタムバス)をリアのパーセルシェルフ下部に内蔵した「フルレンジ+サブウーファー」の5モジュール・10スピーカー構成を採用。ショーファードカーとしての需要も多いSクラスにふさわしい特徴として、音楽の主要帯域を左右1組で再生するフルレンジドライバー・モジュールを前席用と後席用にそれぞれ設けて後席での聴取環境を向上させるとともに、乗員の着席に応じてプロセッサアンプの音質・音場設定を後席でのリスニングに自動的にフォーカスさせる「ショーファードリブン・モード*」も搭載しました。ステアリングを握るときも、後席でくつろぐときも、オーナーとなる方をいつも最高のサウンドでお迎えます。

2：純正オーディオシステムとまったく変わらない優れた操作性

純正オーディオシステムのアナログ音声出力を高精度に取り出すソニックデザインの独自技術、「SonoRevive」(ソノリバイブ)を採用し、Sクラスに標準装備された多彩なオーディオ/ビジュアルソースのすべてを高音質に再生**。もちろん、COMANDコントローラーによるオーディオ/ビジュアル機能の優れた操作性も損ないません。

3：メルセデス・ベンツ純正としての厳しい基準をクリア

車室内およびトランクルーム内にいっさいの突起物を設けることなく最大限の性能を確保するとともに、車両の修理や整備の際はコンポーネント類の脱着も容易に行なえる構造としました。さらにシステム全体の軽量化と省電力化も積極的に推し進め、車両側への悪影響が生じないよう細心の注意を払って設計しています。なお、本システムの架装作業はソニックデザイン本社にて弊社の専任技術者が一貫して行ない、その後改めて車両をメルセデス・ベンツ日本(株)の新車整備センターに戻し、新車整備を完了したうえで登録・納車されます。

*「ショーファードリブン・モード」では「左後席」「右後席」「後席」の3モードを乗員の着席に応じて自動選択、または手動選択できます(標準ボディ車では手動選択のみ)。

**「SonoRevive」は、純正オーディオシステムから音声信号を取り出す際の音質劣化やノイズなどを抑制する機能であり、対象となる音声信号の品位自体を改善するものではありません。したがって、オーディオ/ビジュアルソースの最終的な再生音質は各ソース本来の品位に依存します。たとえば、純正のミュージックレジスター(HDDオーディオ)やメモリーカードスロットなどを使用したMP3ファイル再生時、ポータブルオーディオプレーヤーによる圧縮音源の再生時などにおいては、一般論として、純正CDプレーヤーにおける音楽CD再生時と比較して音質が低下することになります。

「S-Class Sound Suite」 オーディオシステム各部の特徴

1：独自の SonoRevive 技術による純正オーディオソース専用システム

純正オーディオシステムのアナログ音声出力を、音質劣化を最小限に抑えながら高精度に取り出す独自技術「SonoRevive」により、Sクラスに標準装備されるオーディオ/ビジュアル機能を純正装着のCOMANDコントローラーなどで快適に操作できます。純正ソースの高音質再生に特化し、ハイエンド・カーオーディオの最先端をどなたにもストレスなく使いこなしていただくことを目指した新概念のシステムです。

2：フルレンジドライバー・モジュール「D52SSR Unison-Array」(前後席)

音楽の主要帯域を左右1組のドアユニットで再生するフルレンジドライバー・モジュール「D52SSR Unison-Array」をフロントおよびリア用の計2組(4台)搭載しました。このスピーカーモジュールは、既発売のカスタムインストレーション用高級スピーカーモジュール「D52R」をSクラスの車室内音響特性とドア形状に合わせて改良したもので、ユニットには「SD-N52R」型の選別品を投入しています。このモジュールを一般的な13～17cm口径マルチウェイスピーカーと比較すると、(1) トゥイーター用クロスオーバーネットワークを使用せず音楽の主要帯域をシームレスに再生、(2) 小型高性能スピーカーユニットをバラレル駆動することで俊敏なレスポンスとハイパワーを両立、(3) インライン配列された2本のユニットとリスナーとの位置関係の最適化で音の指向性と広がりを制御、(4) 独自の Sonocast (ソノキャスト) エンクロージャにより高剛性・低共振化と余裕ある内容積を獲得、というように数多くの優れた特性を備えています。これによりトゥイーターやセンタースピーカー*などサブウーファー以外の付加的スピーカーを排除し、前席でも後席でも、ソニックデザインならではの穏やかさと鮮度とを併せ持つナチュラルな聴き心地をお楽しみいただけます。

* 本システムには携帯電話ハンズフリー通話専用のセンタースピーカーを装備していますが、このスピーカーはオーディオ/ビジュアルソース再生と切り離されたハンズフリー通話専用としているためオーディオシステムの再生音質への影響はなく、ハンズフリー通話も純正と同じく使用できます。

3：超薄型サブウーファーモジュール「The Suite Custom-Bass」

パーセルシェルフとボディフレームとのわずかな隙間に収まるサブウーファーモジュール、それが「The Suite Custom-Bass」です。Sクラスの車体形状に合わせて開発された超薄型設計のバスレフ方式エンクロージャは強靱な2ピース構造のアルミダイキャスト製。上級グレードのマイクロウーファーユニット「SD-N77R」型（選別品）2本を装備し、車室内空間もトランクスペースも犠牲にすることなく、俊敏で深みのあるリアルな重低音を再生します。このモジュールは純正グリルで完全にカバーされ、外観上はスピーカーユニットなどが一切見えないようデザインされています。

4：小型・軽量・低消費電力の特別仕様デジタルプロセッサアンプ

システムの中核となるプロセッサアンプ部は、ハイエンドと呼ぶにふさわしい圧倒的な高音質だけでなく、これからのカーオーディオに求められる小型（297×210×58mm）軽量（4kg）、そして車両への負担を最小限に抑える低消費電力も同時に実現。音質・音場補正から最終増幅までを音質劣化のないデジタル領域で遂行するデジタルダイレクトアンプ方式の採用により、各スピーカーを厳密にコントロールします。プロセッサアンプの音質・音場セッティングは弊社の専任技術者の手によって車両1台ごとに行い、標準ボディ車とロングボディ車の違いはもちろん、内装材によって異なる吸音特性など細かな仕様の違いも反映されます。プロセッサアンプ本体は、リアバルクヘッドとトランクルーム側ライニング（内張り）の間の車載機器収容スペースに専用ブラケットを介して固定され、車室内およびトランクルーム内部の容積や美観にいったいの影響を与えることなく、また優れたメンテナンス性も確保しています。

5：車外への音漏れを追放する*フルエンクロージャ方式

全スピーカーユニットをアルミダイキャスト製の専用エンクロージャに収容したフルエンクロージャ方式により、信号待ちや静かな住宅街などで気になる車外への音漏れを追放。周囲への迷惑を気にすることなく、至高のサウンドを満喫できます。

6：最上のもてなしを提案するカーオートメーション機能**

着席を検出***してプロセッサアンプの音質・音場設定を後席でのリスニングにフォーカスさせる「ショーファードリブン・モード」など、オーナーとなる方、あるいはこの車両を支配的にお使いになる方の満足を最優先に考えた音場・音質調整機能を搭載。この「ショーファードリブン・モード」では、「左後席」「右後席」「後席左右」の3モードを乗員の着席に応じて自動選択、または手動選択（標準ボディ車では手動選択のみ）できるほか、後席不使用時には運転席でのリスニングにフォーカスした設定に切り替えることも可能です。さらにリバース（後退）ギヤ選択やドア/ウィンドウ開閉と連動して音量が滑らかに下降～上昇するアクティブミューティング（フェードイン/フェードアウト）など、人の感性と響きあう最上のもてなしを提案します。

*音漏れを完全に防ぐ構造ではありません。また安全のため、運転中は適切な音量でお楽しみください。

**お客様のご要望に応じて機能をカスタマイズ、またはキャンセルすることも可能です。

***検出をキャンセルし、手動選択することも可能。ただし標準ボディ車の場合は手動選択のみとなります。

本件についてのお問い合わせ先

株式会社ソニックデザイン：

電話 043-209-1777、eメール info@sonic-design.co.jp

以上